

「社会保障・税一体改革」をやめさせ、応能負担で社会保障の拡充を！

ほっかいどうの社会保障

2012年6月29日

北海道社会保障推進協議会

Tel:011-758-2648

FAX:758-4666

高すぎる国民健康保険料 運動反映し 各地で引き下げ

旭川市は2年連続、大雪地区広域連合（美瑛町・東川町・東神楽町）、小樽市などで



2012年度の市町村国民健康保険料が公表され始めています。各地で高すぎる保険料を下げる署名運動などを行ってきましたが、運動を反映して保険料を引き下げる自治体も生まれています。

旭川市では、昨年の一世代平均2万円引き下げましたが、今年も一世代平均1,600円引き下げられます。2年連続の引き下げです。

大雪広域連合（美瑛町・東川町・東神楽町）でも、一世代平均9,730円引き下げられます。美瑛町では、道北勤医協友の会などが「国保料の1万円引き下げ」を求める署名に取り組み、1ヵ月足らずで集めた863筆（人口の1割）を町長に提出していました。

小樽市でも、医療分で一世代平均11,327円引き下げられ、値上げされる後期高齢者支援分（2967円）や介護支援分（3088円）も含めても約5000円以上の引き下げになります。小樽社保協などが「国保料1世代当たり1万円引き下げを求める」請願署名（7875筆）を集め市議会へ提出しました(写真)。議会では不採択になりましたが、市民の世論と運動が反映し引き下げが実現しました。

世論と運動で 消費税増税、社会保障大改悪は阻止しよう！

小樽 強行採決の日、70人で宣伝行動

民自公によって、衆議院で強行採決された26日、各地で宣伝署名行動が行われましたが、小樽でも昼、夕と中心街で宣伝行動を行い、のべ70人が参加しました。昼の宣伝(写真)では30分で67筆の署名が集まり、夕方の行動では、「消費税増税を必ずやめさせよう」というチラシを渡しながら訴えました。



道内選出の参議院議員へも要請行動を！

道内選出(関連)参議院議員

議員名	政党	FAX	eメール
小川 勝也	民主	03-6551-1217	info@ogawa-k.net
大門 みぎし	共産	03-6651-1203	mikishi.daimon@sangiin.go.jp
橋本 聖子	自民	03-6551-0803	tokyo@seiko-hashimoto.com
徳永 エリ	民主	03-6551-0701	
紙 智子	共産	03-6651-0710	icphkd@icphkdpi.gr.jp
長谷川 岳	自民	03-6550-0055	www.hasegawa.gaku.jp
伊達 忠一	自民	03-5512-2413	chuuichi.date01@sangiin.go.jp
義家 弘介	自民	03-6551-0413	
横山 信一	公明	03-6551-0402	

釧路「国民は怒っています」署名に列ができる

採決直後から、札幌や釧路などで宣伝署名行動が行われ、取り組みが広がっています。釧路では、署名を訴えると「怒っています」と寄ってきて署名をしてくれる方が相次ぎ、列ができ、56人分の署名が集まりました。

今後は札幌、釧路で、7月7日に宣伝行動を行います。

3党協議でも、公的保育制度の解体、待機児童は解消しない

青年革新懇が「保育改悪問題」で学習会



6月27日、北海道青年革新懇は、「子ども子育て新システム」について学習会を行いました。講師は、岡秀子・福祉保育労北海道本部書記長。当日は、現役の保育士さんも参加しました。

3党協議で法案が修正されても、保育のビジネス化は変わらず、待機児童解消にはつながらないことなどが話されました。国や自治体の責任を投げ捨て、保護者の自己責任で完結させようというやり方は何も変わりません。

参加した青年や保育士からも「これじゃなんの問題解決にもならない」「保育士の給料が安すぎる。辞める人も多い」など切実な実態が話されました。